環境の世紀１７　第13回

受講生のひとこと感想

* 無意識で行動できること
* 学生の力でできること　学生も費用負担
* 学生が楽しみながら　日頃できることが考えられた
* 実体験の話が聞けて面白かった　節電は続けられるダイエットと同じ！
* 学生の力でなにかすることが大事　費用も最後は自分たちで　学生自身の意見が大事　環境保全で大事なのは意見交換
* 東電に働きかけるアイデアは学生からしたら身近じゃないかも　身近なことは大きな効果は得られないかも　今日出た案でやれそうなものがあった
* どうやって発信するかが問題　場をもうけるのが大事
* 部屋に仕切りをもうける←わりとできそう　同志と意見を言ってみたい
* 見える化にも意味があるかも　やらないと机上の空論で終わってしまう　環境三四郎ががんばれ！
* 電気が有料であるという意識　学生会館だったら実現？ポイント制なら実現？　小さなことからでもやってみたい
* みんなにどうやって広めるかが難しい　駒場大たき火大会をやりましょう
* 発電する量が変わらないなら意味がない…？環境について興味をもつための節電、というとらえ方
* 実現できそうな面白い意見　行動に移さないとなにも変わらない　環境三四郎にお願いしたい　学生の意識を変えるのが難しい
* 節電のモチベは節電の意味を知らせること　意味があるとやる気が出る
* 知識があって節電する人とない人が節電する人の違いを考えたい
* 夏の冷房冷え過ぎは外の環境を無視してる　コンピューター制御（２１KOMCEE）　やはり機械を高度化させて節電すると楽
* 新入生のガイダンスで学生全員に言えば聞いてくれるかも　モチベが続くにはどうしたらいいのかが問題
* 各教室でどれぐらい電力使ってるか計算　スイッチにつけたりなどやってみたいと思える案が出てきた

※授業中にメモしたものですので、受講生のみなさんの発言が全て書ききれていなかったり言葉が不十分であったりしますがご容赦ください。